

スクールトピックス



アサザの苗を移植する児童ら

未来へつなぐ～アサザの移植 翁島小学校

翁島小学校6年生の児童12人は9月1日、猪苗代湖北岸で湖水を浄化する働きがある水生植物のアサザの苗を移植しました。苗は昨年度の6年生が種から育て、年度を越えて後輩たちが毎年移植を行っています。猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表が協力しました。児童は水着姿で湖水に入り、アサザの苗を丁寧に移植しました。渡部こゆりさんは「猪苗代湖がもっときれいになってほしいです」と話しました。

課題解決能力を養う 吾妻中学校

吾妻中学校3年生16人は9月14、15の両日、総合学習の一環として、町水防センターやひまわりこども園などの施設で課題追求体験学習を行いました。生徒たちは6班に分かれ、「町内の子どもと保育施設」や「猪苗代湖の水環境はどうなっているのか」など、班ごとに設定した課題追求テーマについて学習しました。生徒たちは後日、研究内容をそれぞれ取りまとめ、11月4日に同校で開かれる文化祭で発表を行う予定です。



町水防センターを見学する生徒ら

協力してゴミ拾い 猪苗代支援学校・猪苗代高校

猪苗代支援学校高等部の生徒20人と猪苗代高校1年生35人は9月5日、志田浜の清掃活動を行い、両校の交流を深めました。両校の生徒たちは6班に分かれ、協力しながら花火の燃えかすやたばこの吸い殻などのゴミを熱心に拾い集めました。

猪苗代支援学校の舟木一真さんは「猪苗代高校の皆さんと一緒に清掃活動ができて楽しかったです」と感想を話しました。



志田浜の清掃活動を行う生徒

49年ぶり全会津駅伝V 猪苗代中学校

第65回全会津中学校体育大会駅伝競走大会は9月6日、会津若松市の会津総合運動公園内特設駅伝コースで開かれました。男子の部は、オープン参加を含む45チームが参加し、6区間18キロのコースで熱い戦いが繰り広げられました。猪苗代中学校は、4区の大橋清陽選手が区間賞を獲得する快走を見せるなど、57分59秒の大会タイ記録で49年ぶり8度目の優勝。東中学校が7位入賞を果たしました。



49年ぶりの優勝を果たした猪苗代中学校の選手ら

笑顔でこんにちは



大好きなパパとママと一緒に「ハイ、チーズ」

菜々美ちゃんの名前には「誰にでも優しい気持ちで接することができる、心の美しい人に育ってほしい」。パパとママのそんな思いが込められています。

阿部 菜々美 ちゃん

平成27年6月生まれ
～猪苗代行政区外
教明さん・沙耶香さんご夫妻の長女

お絵描きが大好きな菜々美ちゃん。お気に入りの絵描きノートには、いろいろな絵がびっしりと描かれています。最近では、テレビの子供向け番組を見ながらダンスをしたり、歌を歌ったりして元気に過ごしているそうです。「フルーツやヨーグルトが好物なんです、味噌汁も大好きなんです」とママの沙耶香さんは笑顔で話します。

とても活発な菜々美ちゃん。パパやママと公園に行くと、元気に走り回って遊んでいます。パパの教明さんは「大きくなったら、家族で遊園地に行くのを楽しみにしています」と話します。沙耶香さんは「将来は誰にでも優しく、気配りができる人に育ってほしいです」と菜々美ちゃんを優しく見つめながら話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

地域おこし協力隊紹介

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

遠藤 孝行さん

主な活動内容：ふるさと納税、水環境保全



今年4月から地域おこし協力隊として町企画財務課に配属となりました遠藤孝行です。福島市出身の25歳です。猪苗代町は自然豊かで、スキーなどさまざまなスポーツが楽しめる素晴らしいところだと感じています。

昨年の8月までは東京のIT関連会社に勤務していましたので、自分の強みである情報発信力を生かして、地域振興に貢献したいと思っています。

現在、私が担当している業務の一つに、ふるさと納税の推進があります。猪苗代の魅力を発信するため、ふるさと納税寄付者の方々へ返礼品として送付している特産品などの拡充に努めています。さらには、猪苗代町に来ていただき、宿泊やスキーなどのさまざまな体験をしていただけるよう、事業所の皆さんのご協力をいただきながら、体験型の返礼品開発に向けて取り組んでいます。

猪苗代町に移住してきたばかりですが、町を良くしたいという思いは皆さんと同じです。どうぞ、よろしくお願いします。